



「東京六戸会」たより
108
七百中修学旅行における
講話会のご報告Ⅱ

昨年11月10日、七百中学校修学旅行の企画として開催された「先輩講話会」でスピーチした「東京六戸会」の下田達也と申します。

私は昭和46年生まれで、昭和62年に七百中学校を卒業し、三沢高校に進学。その後上京し、現在は(株)リクルート運営の求人サイト「リクナビ」の広告制作や、採用ホームページをつくっております。

この度ご縁がありまして、後輩である七百中学校の生徒さんたちの前で講演する機会をいただき、誠にありがたいことと感謝いたしております。

当日は、私が講演するだけかと思っていたのですが、生徒さんたちから熱烈的な歓迎を受けました。日々の授業風景や給食風景、運動会の様子や部活動など、パソコンとスクリーンを使ってわかりやすく解説していただきました。

自分たちで写真を撮り、スライドを作成して、自分たちの中学生活を知ってもらおうとする姿にとっても感動しました。同席した東京六戸会会長・高坂忠氏、副会長・田中章雄氏も、生徒さんたちの元気な姿にとっても感銘を受けている様子でした。

当日の準備のご指導をされた教頭先生をはじめ諸先生方に心よりお礼申し上げます。

僭越ながら私からは、自分が東京に出てきたときの経験をもとに、人と情報が溢れるいまの社会では自分自身の価値観が全ての物差しになるということを話しました。

私たちの中学時代は、欲しいモノや情報を「集める」時代でしたが、これからは自ら「選ぶ」時代。携帯電話やパソコンが普及している現在では、地方でも東京でもほとんど時差なく最新の情報を得ることができます。

しかし、情報は人の価値観を作る素材にすぎません。どの情報を選び、どのように組み合わせる自分の糧にしていくかは自分の興味と想像力次第です。

将来の可能性は無限大に広がりますが、興味の枝葉を広げていく

ほど、支える幹と根が大事になります。私たちが支える幹と根は、この「地元」にあります。

「地元」を知り、いろいろな場面で「地元」を自慢できる人になって欲しいと願っています。私自身、学ぶべきことが多く大変意義のある「場」であつたと感じています。

最後に、今回、このような機会を設けてくださいました七百中学校の皆さま、東京六戸会関係者の方々に心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

東京六戸会理事・下田達也
(七百中62年度卒)

※お知り合い・親戚の方で東京六戸会入会ご希望の方をお知らせ下さい。年会費は千円です。

◎東京六戸会事務局
〒276-0045

千葉県八千代市大和田151-5

沼澤 強(七百中32年度卒)

☎ 047-484-9426

FAX 047-484-9427

携帯電話

090-8312-9452

Eメール

numa@newman-tech.co.jp

◎東京六戸会ホームページ

<http://www.rokunohetokyo.com/>

